Dr.の見診（けんしん）

成人T細胞白血病の疑い不安

私は血液検査でATL（成人T細胞白血病）の疑いがあると言われ、40歳を過ぎたら発病の心配があるようです。結婚して子どもに遺伝しないか心配です。40歳を過ぎると死んでしまうのでしょうか。また、何科で相談すればいいですか。

（那覇市OL・25歳）

ハートライフ病院
血液内科　部長
平良　直也

過度の心配せず血液内科に相談を

血液検査で成人T細胞白血病が疑われれると言われたようですが、どのような検査にてATLが疑われたのが問題となります。

ATLはHTLV−I（ヒトTリンパ球向性ウイルスI型）の感染によって起こる白血病・リンパ腫、いわゆる血液のがんと言われる疾患の一つです。このウイルスはいったん感染すると体内に残っており、そのヒトをキャリアと呼びます。全国のキャリア数は約100万人と言われており、その大部分が九州・沖縄出身の方です。しかし、すべてのキャリアがATLを発症するわけではなく、その発症率は1000〜2000人に一人と考えられており、年間の発症者は約700例と推定されております。

HTLV−Iに感染しているからといってかならずしもATLを発症することはなく、キャリアの多くは生涯問題なく過ごす方が大部分です。

ATLの診断には血液細胞中に形の異常なリンパ球を認めることが多く、もしその検査でATLが疑われたならば血液内科医のいる病院で、より詳しい検査をする必要があります。

感染した形跡（抗体検査でHTLV−Iが陽性）がある場合はキャリアということになり、ATLを発症したわけではありません。もし心配で詳しい検査をご希望であれば、血液内科にご相談ください。HTLV−Iは乳児期に感染し、ATLを発症するのは多くは60歳代です。あなたの年齢からすると、発病するのはかなりまれだと思われます。

HTLV−I感染の大部分が、乳児期に母親からの母乳感染が原因と考えられております。その感染率は報告により色々ありますが、約20％と言われております。お子様への感染を防ぐには、直接の母乳栄養を避け完全人工乳による栄養、もしくは短期の母乳栄養（6カ月未満）にするか、または一晩凍結保存した母乳を与えることで感染率を低下させることができます。

またこのウイルスはリンパ球に感染しており、ウイルスが直接血液中に存在しないため、感染率は低く、口移しで唾液から感染することはまずありませんし、ましてや接触による感染はありません。

たいらなおや　46歳・浦添市出身。1989年琉球大学医学部卒業。2003年ハートライフ病院勤務。内科専門医・血液内科専門医。